

町田市の博物館等の新たな在り方構想検討委員会
第5回議事（概要版）

平成23年2月14日 14:00～16:00
町田市役所本庁舎地下一階小会議室

配布資料

資料1 検討結果報告書（案）

1 前回議事内容の確認

前回の内容の確認。配布された議事録について修正事項がある場合は2月25日までに事務局まで連絡。

2 議事

議題1. 報告書の骨子案について

「町田市の博物館等の新たなあり方構想委員会検討結果報告書」の第一稿として事務局より（案）が提示された。

鈴木良明委員長： 事務局より提示のあった報告書案について、委員の皆様のご意見を頂きたいと思います。

前島正光委員： 表紙のタイトル、一番下に町田市と書いてありますが、「誰が」「どこに」提出する文書なのかこれでは分かりにくいと思います。この委員会が、町田市及び町田市長に報告するというスタンスではないのかなと思うのですが。主語を明確にさせていただいた方がいいですね。

山口有次委員： 11ページの「(5) モノを文化資源化する機能」には、一般的な博物館の機能が書いてあり、13ページには現状や課題が書いてあります。これは「1. 博物館棟の現状と課題」に集約すべきだと思います。
2の「求められる役割・機能」については、観光や商業の活性化、産業振興についても大きな柱となるため、入れるべきだと思います。

前島正光委員： 地域の活性化のところは、今の原稿ですと、さらりとし過ぎている。少し具体的なイメージができるようなものにした方がいいと思います。

小瀬康行委員： 「はじめに」のところ、下から3行目の「文化芸術都市町田をめざして」とありますが、提言の名前としてはっきりしていますので、この報告書のタイトルも、具体的なイメージが湧く提言名をつけたらいいと思います。

前島正光委員： P4 右側、委員会の位置づけを明確にした方がいい。

右下に本委員会の四角がありますが、今後この委員会の報告を元にどうして行くのかというイメージがそこで出された方がいいと思います。この委員会と担当部局とが話し合った上でまとめたという形がいいと思います。

濱田隆委員： P5に関して、ここに挙げるかどうかは別としても、施設名、所在地、開館年が必要だと思います。議論の材料として規模も重要だと思います。規模・収蔵品の数は後の方に入れるならそれでもいいです。

基本資料的なものをどういうふうにして載せるのか、一覧表で前の方に載せるのか、資料編として後半に入れるのか。その辺を検討してください。

山口有次委員： 委員会以前の経緯が、1の現状と課題に入っていますが、この部分は委員会で議論した内容ではないため、ゼロ章、序章などといったように、外に出してはいかがでしょうか。

前島正光委員： 資料編は作る予定ですか。この委員会で検討するために必要とした参考資料など、何を基にこの委員会が検討していったか示した方がいいと思います。それはどこかでリストに出すなり、資料そのものを資料編で添えていただくなりした方が、いいと思います。

濱田隆委員： 主な施設の説明がアンバランスであったり、あるところは非常に詳しくあったり、気になるところが多々あります。例えば、町田市立博物館の場合も、何かここだけ保有する資料についてやや詳しく書いてあるような気がしますから、バランスが取れていない。国際版画美術館については、どういう経緯で出来て来たかなどもバランスを考慮して触れるといいと思います。

小瀬康行委員： 博物館の内容を見ますと、7ページにも保有する資料とその価値が書かれています。一括してまとめてしまった方が読む方としては読みやすいと思います。

前島正光委員： この章立てが現状と課題というタイトルでありながら、委員会以前の事が書かれています。この委員会の中で議論されたところをもう少し具体的に書くべきです。この委員会としてどういうふうに現状を把握して課題として意識したのかというのが見えない。

山口有次委員： (2)の「保有する資料とその価値」については、これまでの委員会で重要な資料が数多くあることを議論しているのです、この部分は報告内容の中に入れた方がよいと思います。

13ページにある主に議論したこと、貴重な資料が数多くあるのに保存状態が良くない、活用もされていない、教育にも活かされていないといった記述は、1の現状と課題の中に入れた方がよいと思います。

鈴木良明委員長： 博物館の資料を生かすというのは、何か普遍的に知られていることだから、あえて強調しなくてもいいかなという考えもありましたけれども、山口先生がおっしゃっていたように非常に大事だということで、この委員会で議論をし、再認識したということを皆さんの共通認識として持ちました。そこで、貴重な資料があるから博物館で生かしましょう、というストーリーになる。

濱田隆委員： 資料に関する議論は重要なところですよ。その価値の認識に立って、いろんな問題点があったということをお話されました。市立博物館の資料は内外的に評価が高いこと、版画美術館についても同じことが言えます。自由民権資料館の古文書類は、市の歴史を語る上には欠かせない、貴重な資料であるなど。考古資料については、なおさら、記述することが出来ます。

山口有次委員： タイトルとか、小見出しなどで記述内容を表現できるようにしてはいかがでしょうか。例えば「ガラス」という項目だけあっても、読まなければ内容が分からない。「全国でも希少なコレクション」といった小見出しで特徴を把握できるようにすると読みやすくなると思います。

小瀬康行委員： 「博物館施設に求められる役割」を見ますと、2番と3番は、学校教育、生涯学習と、学ぶという点では同じなんですよ。学ぶという、領域かなというふうに思います。4番のところ、市民交流の場の提供で、創造するということが強調されています。学ぶという要素、創るという要素で大きくブロックを形成しています。1番の地域の活性化とか、文化芸術振興というのは、楽しさという要素が強いと思います。楽しさ、創造する、学ぶ、この3つの要素があると思います。

前島正光委員： やっぱ市民協働というのと、何か動かして行く、市民と行政とが一体になって、一緒に物を考えながらやって行こうということです。市民の力をはっきりさせていくことによって活性化し、そこからのつながりでいろんな結果が生まれてくるんだと思います。

濱田隆委員： 「文化資源化」という言葉には違和感がありますがもう一般常識化した言葉でしょうか。博物館活動そのものの事ですから、もうちょっとわかりやすく言ったほうがよいと思います。

鈴木良明委員長： 内容としては基本中の基本というものです。

小瀬康行委員： この2～3年の言葉だと思います。文化資源という言葉が出た時に、鉱物資源をイメージする人もいられるかもしれませんが。博物館資料は上手に活用すると私たちに様々な恩恵を与えてくれますが、政策に反映する立場の行政の方がそのような意味を理解して下さるかどうかが、これに代わる言葉があるかということ、難しいとも感じます。

- 事務局（矢島）： 博物館機能について詳しくない方に、一次機能と二次機能ということをしっかりご理解頂きたいと考えました。展示、教育普及などの二次機能は一般の方の目に触れますが、裏方の1次機能は触れる機会がないのではと思いますので、説明が必要と感じました。
- 濱田隆委員： この問題は極めて基本的な、博物館活動の原点です。町田市の博物館だけの問題ではないので、一番初めにそういうことが語られてもいいのかもしれない。自明だけれども、一番大事なことであるところですから。
- 前島正光委員： 市民ボランティアに関しては、責任の点で限界があると思います。人材の確保としてのボランティアではなく、市民活動として表現した方がいいと思います。
- 山口有次委員： 最初のころに、大学生がボランティアとして関わることが期待されるといった議論がありました。そのようなことが市民活動の範疇に入るのであれば、追記していただいた方がよいと思います。
- 前島正光委員： 全体としてこの委員会としてのメッセージや結論について、この報告書案では詳細を読まないで伝わりにくくなっています。どこかにしっかりとまとめて明確なメッセージが出せる項目タイトルをつけた方がいいと思います。この委員会としてどういう形に意見が集約されたのかということを確認にわかる工夫をお願いします。
- 山口有次委員： 19ページ右側に、「わざわざ来場」から「ついでに立ち寄る」と記載されていますが、「から」というと、わざわざ来てもらうことは重要でないようにとれてしまうので、表現方法を変更してはいかがでしょうか。
- 小瀬康行委員： 「町の中を歩きながら回遊し」とありますけれども、明確に駅前から博物館に行く散策ルートを設定して、博物館同士でネットワークを作って人々が歩くきっかけを作る事も大事だと思います。
- 前島正光委員： 回遊ルートによって人の流れが出来てくると、商業の活性化にもつながり、関連分野の発展も見込めます。
- 山口有次委員： 駅前ナビゲーション施設のような交通利便性の高い場所からスタートし、ネットワーク化して、つなげていけば効果的です。
- 濱田隆委員： 立地について議論したことが、分散していて見えにくくなっています。具体的な議論も行われたと思います。それがまとまっていないようです。
- 渡辺一雄委員： 「立地」という言葉を使うと、それは財政、財源も含めて相当覚悟を決めて施設か何かを作るという表明になります。施設の在り方とし

での条件の場合、建設等が決定していない段階では、「立地」とは表現しない方がいいのではないかと思います。

鈴木良明委員長： 委員の皆様、ありがとうございました。事務局はこれらの意見を反映して最終版を作成してください。

事務局(奥山)： この場でご発言しきれなかった部分がありましたら、メール等でいただきたいと思います。ご指摘を受けた中で個別に委員のご指導を頂きたい部分がございますので改めてご連絡いたします。

本検討委員会の市長への報告につきまして3月25日金曜日の午前中ということで調整しております。決まり次第連絡を差し上げるように致しますので、よろしくお願い致します。